訓練 弟子たち 修行

セッション 28:弟子訓練のダイナミクス(11日)

ロン・ライブリー M.Div., M.A. による提供 – BiblicalMentoring.org(研究)

ステップ1:開会の祈り

ステップ2: 各人がその記憶の節を引用します: ヴァース: **テモテによる第二の手紙 1:7-8**
7 神は私たちに恐れの霊ではなく、力と愛と自制の霊を与えてくださった。
8 ゆえに、わたしたちの主についての証しを恥じてはならない。
私も彼の囚人ではなく、神の力によって福音のために苦しみを分かち合え。

ステップ3: *聖書の章の全部または一部を読み、議論してください* - **テモテ第二 1章**
リンク: https://www.biblegateway.com/passage/?search=2%20Timothy%201&version=ESV

ステップ4: 個人応募やグループディスカッションに関する質問:

一. すべての信者は生涯にわたる聖化の過程を経るため、あなたの訓練生には弱点があり、トレーナーであるあなたがそれを正す手助けをする必要があります。

二. あなたの役目は、弟子がよりキリストに似たものになるなら、その弟子と向き合うことです。

三. あなたは、他の信者を聖霊に服従させることを訂正し、叱責し、励ましていく方法を学びましたか?

四. 一緒に祈ることで、弱さを強みに変えることができると学びましょう。そのための戦略をどう立てるかを学びます。

五. 弟子の強みを伸ばすことには価値があります――単に弱点を指摘することだけではありません。いつか自分の弟子たちを助ける技術を持つことを信じてください。

ステップ5: *本書『The Making of a Disciple』からの内容を読んで議論してください(下記の出典参照):*
著者キース・フィリップスによる第11章d:

正しき弱点

私が奉仕を始めたとき、最も難しかったことの一つは、別の人を訂正することでした。拒絶されることを恐れ、自分が間違っているのではないかと恐れていました。ある年配の説教者が私の考え方を一変させました。彼は私にこう言いました。「あなたはただの代弁者にすぎません。意見や提案はしないでください。『主はこう言われた』と前置きで言えないなら、言わないでください。しかし聖書にそう書かれていて、それを宣言するのが怖いなら、その人を愛していないのです。」必然的に、弟子の人生にはまだキリストらしくない部分があります。あなたはこれらの弱さを暴き、対処する責任があります(ガラテヤ4:19)。「彼は辛い人生を送ってきた」とか「それは彼の性格の一部だ」と理屈で言いたくなるでしょう。しかし、弟子の弱さを正すために関わるほど、その人を愛しなければなりません。この目的のために、以下の手順が推奨されます。

彼の弱点を見極めろ。

弟子を注意深く観察し、彼の言葉に耳を傾けてください。彼は彼の必要と霊的な幸福に関するあなたの最大の情報源です。

彼が今どうしているか、どんなニーズがあるのかを表現するのに役立つ質問を投げかけてください。彼の人生、御言葉の中での時間、他者との関係に集中してください。彼が自分の上に権威を持つ者、家族、見知らぬ人、異性、友人とどう関わるかを見守ってください。他の人があなたの弟子をどう見ているかを見極めてください。彼について寄せられるコメントに耳を傾けてください。彼は尊敬されていますか?信頼できるですか?好かれていますか?彼の筆記課題や記憶作業をチェックしてください。これらすべてを愛をもって行いましょう。ただし、必要な領域に注意深く目を向けてください。

弟子と対峙しろ。

弱さを見抜いたら、それを弟子と話し合ってください。彼を愛して、彼と向き合いましょう。神は言います、「わたしが愛する者は叱り、しつける...」(黙示録3:19 NIV)もし弟子が神の御心から逸れたら、勇気を持って正しい道へ呼び戻してください。パウロは「一人ひとりを励まし、励まし、懇願していました.....」「父が自分の子をするように」(テサロニケ第一2章11節)と。もしあなたが弱々しく反応したり、弟子の反抗に怯えたりすれば、彼の訓練は不十分です。あなたの弟子は、その対決が厳しくも愛情深いものであれば、前向きに反応します。パウロはテモテに「大きな忍耐と慎重な指導をもって、正し、叱り、励ますべきだ」と言いました(テモテ24:2 NIV)。しかし彼はテトスに「...キリスト者に話しかけなさい...」と言いました。彼らを信仰の中で強くするために、必要なだけ厳しく語りかけてください(テトス1:13 LB)。パウロはテモテの寡黙について穏やかでありながら率直に挑みました(テモテ21章)。パウロはまずテモテへの愛を肯定し(1-4節)、彼らの親密な関係の詳細を思い出しました(5章6節)。そして、この表明された親密さに基づき、彼は大胆にテモテの必要に語りました。「神は私たちに臆病な霊を与えたのではなく、力と愛と規律の霊を与えられたのです。ですから、わたしの証しを恥じてはならない、あるいは私という捕虜の証しを.....」(7章8節)常に神の言葉とイエス・キリストの権威に基づいて対峙してください。そうすれば、キリストがペテロに対峙したときのように大胆で自信を持っていられる。「...私の後ろに回れ、サタンよ;あなたは神の利益ではなく、人の利益に心を向けているのです」(マルコ8:33)。パウロはこう書いています。「...主イエスにあって、あなたに求め、励ます...」(テサロニケへの第一の手紙4章1節)

弟子に、彼の罪深い行いや習慣を暴く聖書の原則を示してください。そうすることで、神の言葉こそが、あなた自身の意見や経験ではなく、神の言葉こそが彼を正す根拠であることを明確にします。

ただし、弟子と会うたびにその人に直接対峙しないでください。しばらく前に、この傾向に自分の人生で気づきました。私たちのミニストリーが広範囲に広がっていたため、ほとんど会わないスタッフもいました。彼らに会うときは、私が個人的に気を配る必要がある深刻な問題を抱えていたからでした。しばらくして、ごく自然なことが起こりました。キースが彼らに会いたがると告げられたとき、彼らは罪悪感と不安を感じました。この恐怖は、彼を愛する心配する兄弟に会うという期待ではなく、ローマのキリスト教徒がコロッセオに招かれたときの恐怖に似ていました。誰も対立の上に築かれた関係を望みません。対立を励ましと支援とバランスを取るようにしてください。弟子の成長と神の原則の実践を称賛してください。彼がどのようにあなたに仕えているかを共有してください。彼にはこの肯定があるはずです。

弟子と向き合ったら、一緒に聖書を学び、彼の人生に培うべきポジティブな特性を見つけたり、彼自身が基準を見つけられるよう励ましたりしましょう。

一緒に祈りましょう。

人生を変えられるのは神だけである(コリント人への第一の手紙3章6節)。パウロは友人たちに祈りの中で「苦しみ」を共にするよう促しました(ローマ15:30)。イエスは約束されました。「...もしあなたがた二人が地上で、どんなことでも合意すれば、それはわたしの父によって成されなさる...」(マタイ18:19)この弱さを力に変える祈りの約束をしてください。

戦略を立てましょう。

戦略とは、弟子を目標達成へと導く一連のステップのことです。これらのステップは具体的で明確に定義され、達成可能でなければなりません。弱点を取り除くためには、あらゆる戦略に必ず含めるべき三つの重要な要素を提案させてください。

1. *聖書研究.多くの人は聖書が叱責されるために聖書を学ばない。しかし変化は「聖書の励まし」によって起こる…」(ローマ15:4)神は、神に従う者を豊かに祝福します。ジョージはしばしば報告書を遅らせるスタッフでした。彼のリーダーは、その不便さを説明しましたが、ジョージは小さなことにおける忠実さについて学ぶまで、この弱さを正すことができませんでした。それが彼の態度を変えました。問題に直接触れている箇所を学ぶことも戦略に含めなければなりません。*

2. ポジティブモデル*.あなたの弟子は、あなたや他の成熟した信者たちを見守ることで、必要な特性の前向きな模範を示すことでキリストに従うことを学ぶでしょう。ペテロは長老たちに群れの模範となるよう告げました(ペテロ第一5章1-3節)。パウロはピリピ人に「兄弟たちよ、他の者たちと共に私の模範に従い、私たちがあなたに与えた模様に従って生きる者たちを注意深く見なさい」(ピリピ人への手紙3:17 NIV)を励ました。あなた方の人生は、弟子が弱い部分で神に従うことが可能であることを示すでしょう。彼は必要な性質にさらされなければなりません。模範は強力な変化の使者です。*

3. 実用的な応用。 *ヤコブ1章22節(RSV)は私たちに「…ただ聞く者ではなく、御言葉を行いなさい。弟子は具体的な実践を通じて成長します。彼の弱さを正すのに役立つ活動に参加させてください。例えば、グループミーティングの後に片付けをすることで、しもべらであることを学びます。彼は自分の弱い領域での成長を妨げる活動に参加してはなりません。聖書研究会を主導することは、彼のプライドを養い、逆効果になるかもしれません。弟子はこの戦略を、あなたが押し付けたものではなく、自分のものだと見なさなければなりません。可能な限り彼の考えを取り入れてください。この計画に従うことを、あなたが支持し励ますことを約束してください。*

彼に責任を取らせろ*.これは長いプロセスですが、優れた時間管理です。弟子が原則を理解し、それをどう適用するかを知っていれば、彼は将来自分の人生や、導く者たちの人生における弱さに効果的に対処できるよう備えられるでしょう。同じくらい重要なのは、このプロセスがあなたへの愛を確かめ、あなたが下すすべての決断において神の御心を求める者としてのあなたへの信頼を強めてくれることです。信頼が服従の基盤であるため、このように彼の弱さに対処することで、彼は喜んで神の権威に服従するようになります。*

自分の強みを活かす

弟子の成長を促し、神から与えられた賜物を発展させるために、あなたは彼の強みを育てる責任があります。まず、彼の見かけ上の強みが誇りの源でないことを確認しましょう。もしそうなら、それを弱点として扱いましょう。そして、彼の強みを伸ばすための戦略を設計してください。この戦略には、聖書研究、ポジティブモデル、そして上記の実践的な応用が含まれなければなりません。弱点を正しつつ、同時に強みを育てるプロジェクトを割り当てられるのが理想的です。ルスは組織力は弱かったが、奉仕に長けていた。そこで私たちは、ロサンゼルスのスタッフの食事を監督する責任を彼女に任せました。これにはメニューの計画、買い物の整理、料理人の割り当てが含まれていました。彼女の奉仕者としての姿勢は、他の人々に自発的に仕事をする動機づけとなりました。これが彼女の強さを鍛えました。そしてルースは優れた組織者となり、自分の弱点を正しました。あなたの祈りに応えて、神は弟子の未発達の強みを見抜く見分け力を与えてくださいます。どんなプロジェクトが終わったら、弟子の効果を評価してください。何がうまくいったのか彼に尋ねてください。なぜそれがうまくいったのか?何がうまくいかなかったのか?なぜダメなのか?どうすれば改善できるのか?何が達成されたのか?プロジェクトの評価に加えて、弟子としての目標を再検討し、話し合いましょう。弟子は丁寧でしたか?きちんとしていた?整理整頓できた?創造的だった?彼は適切に任務を委譲できたか?彼は他者に対して敏感で、積極的に貢献できたか?彼は主体的に行動しましたか?彼は何を学びましたか?最後に、弟子を励まし、褒めてください。そして、さらに難しい課題が出てきたときは、彼に最高の賛辞を伝え、それを彼に任せましょう。

弟子のチェックリスト– 弟子訓練のダイナミクス
弟子の霊的環境には以下が含まれているようにしています:
___**Worship** – 全能の神への愛、畏敬、敬意を表す崇拝の態度。
___**ミニストリー** – 互いを高め合い、啓発し合うこと。

___暗記 – 神の言葉を心の中に隠すこと。
___瞑想 – 神への意識への追求。
___教育 -
___the聖書
___how考えてみて
___how決断をする。
___弱点を修正する。
___強みを伸ばす。

pp. 128-133

ステップ6: *個人的な祈りの願いを共有し、それぞれが相手の願いのために祈ります。*

出典:キース・フィリップス博士著『The Making of a Disciple』。フレミング・H・レヴェル社出版、1981年。ISBN 0-8007-1181-5。ロバート・E・コールマンによる序文。内容(学習問題を除く)は本書から改訂なしで引用しています。

改訂20261123